

令和元年度射水市国民健康保険運営協議会

会 議 録

- 1 日 時 令和元年8月8日(木)
開議時刻 14時00分 閉議時刻 15時05分
- 2 場 所 射水市役所本庁舎 202会議室
- 3 出席委員 11名
被保険者代表 石黒勝久、尾上清逸、岡田順子、岡田静子
医師・薬剤師代表 木田和典、島多勝夫、奥村俊晴
公益代表 二口憲夫、塚本清(会長)、亀谷順子、森下恵子
- 4 欠席委員 1名
医師・薬剤師代表 山崎禎直
- 5 当局の出席者
・福祉保健部長
・福祉保健部次長
・収納対策課長
・保険年金課長
・保険年金課長補佐
・国保・年金係主査
・国保・年金係主任
- 6 会議日程
1 開会
2 会長挨拶
3 議題
・平成30年度射水市国民健康保険事業特別会計決算(見込)について
・第2期データヘルス計画における評価結果及び保健事業の実施状況について
・保険者努力支援制度について
4 その他
国民健康保険運営協議会委員の任期について
5 閉会

〔会議内容〕

1 開 会 保険年金課長より開会宣言

2 会長挨拶 塚本会長挨拶

3 議 題（事務局資料説明）

- ・平成30年度射水市国民健康保険事業特別会計決算（見込）について
- ・第2期データヘルス計画における評価結果及び保健事業の実施状況について
- ・保険者努力支援制度について

4 協議・意見交換

委 員 財政調整基金を毎年取り崩していくことで、最終的には基金残高がなくなると思われる。基金残高がなくなった時点で国民健康保険税の税率を上げるのか、それとも基金残高がなくなる前に、毎年少しずつ国民健康保険税の税率を上げていくのか？

事 務 局 資料1の3ページ目の「基金残高の推移」のとおり、令和3年度後には財政調整基金が底をつく見込である。基金の取り崩しと国民健康保険税の税率の改正を一緒に考えながら、税率の改正を検討する時期にきているという認識である。

委 員 資料2の「射水市国民健康保険第2期データヘルス計画における評価結果」で、高血圧症有病者の減少が短期目標となっており、目標値は22.5%になっている。高血圧症は長期間の治療が必要であり、有病者数はなかなか減らないと思われるが、この目標値は新たに有病者数を増やさないという意味での目標値なのか？

事 務 局 生活習慣病の発症を予防し、新たな有病者を増やさないことで、高血圧症有病者の割合が減っていくことを期待しており、目標値の達成に繋げていきたいと考えている。

委 員 資料3の「保険者努力支援制度について」で、平成30年度と平成31年度で評価指標に対する配点に変更になっているが、毎年、変更になるのか？

事 務 局 毎年、配点は変更となっている。また、指標の中の評価の項目も毎年、見直されている。たとえば（特定健診の）受診率について言えば、今後は、受診率が高くなれば加点されるが、受診率が大きく下がるようであれば減点になる方向で進んでいくようである。

委 員 保険者努力支援制度の成績によって交付額が変わってくるという
ことでよいか？

事務局 そのとおりである。

5 閉 会 塚本会長より閉会宣言